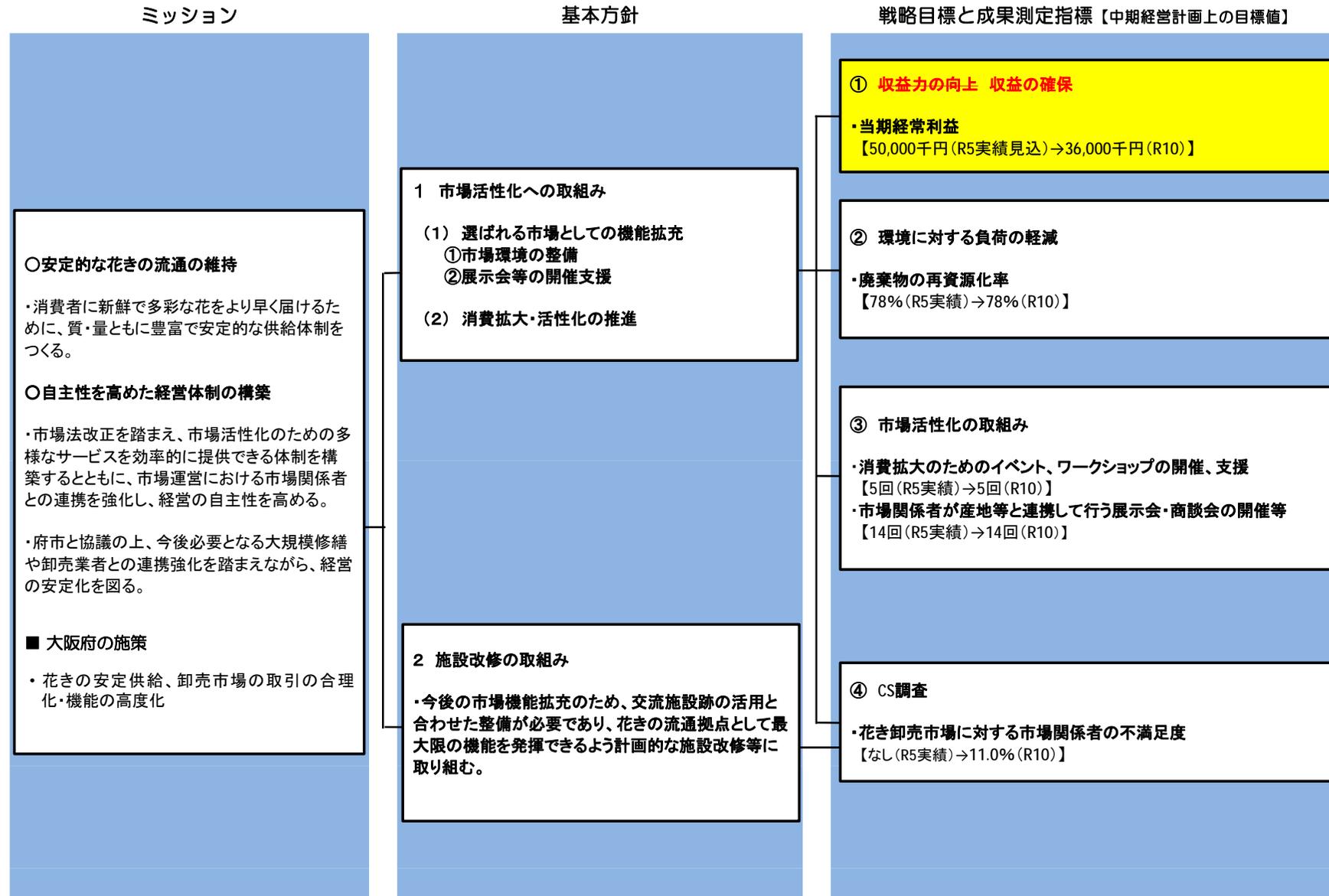


法人名	株式会社大阪鶴見フラワーセンター
作成（所管課）	環境農林水産部 流通対策室 市場・検査指導課

○ 経営目標設定の考え方



○ 令和5年度の経営目標達成状況及び令和6年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R5 ウエイト	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値 〔見込値〕	R6 目標値	R6 ウエイト	中期経営計画 (R6~R10)		R6目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R6 目標値	最終年度 目標値	
① 収益力の向上 収益の確保	当期経常利益		千円	40	61,323	13,786	[50,000]	↓ 30,000	45	30,000	36,000	<ul style="list-style-type: none"> ・経常利益については、基幹システムにかかるシステム貸付使用料収入や交流施設跡にかかる光熱水費、業務委託費、固定資産税、また基幹システム及び改修工事費に係る減価償却費等を増額要素として策定した中期経営計画のR6年度目標値である30,000千円とする。 ・朝日生命から無償譲渡を受けた交流施設跡の活用方法も含め、R6年度末までに市場の機能向上のための整備方針をまとめていく。 ・施設の改修については、交流施設跡の活用方法を含め検討する必要があるため、R6年度も優先順位を決め必要最小限の範囲で対応する。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)										戦略目標達成のための活動事項		
最重要とする理由、 経営上の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・当市場が我が国の中核的・二大市場の一翼として安定的な花き流通に寄与するとともに、市場運営の車の両輪である卸売業者との連携強化(取組み支援)を通じ、選ばれる市場としての機能拡充を図り、より競争力のある市場を目指す。 ・流通量の減少等、花きを取り巻く厳しい状況の中でも単年度黒字を維持し、経営の自主性を高め、確保した収益を施設の維持や機能拡充のための投資にあてる。 ・民営化を進めるため、株式の売却時期について、企業価値を見極めた上で判断する。 										<ul style="list-style-type: none"> ・今後の市場機能の強化のため、交流施設跡の活用と合わせた施設改修を検討する。 	
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点 記載順を入れ替え (1つ目から3つ目まで ・が時系列順に並ぶよう)	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度末までに朝日生命から無償譲渡を受けた交流施設跡の活用方法を決定する。 ・市場内基幹システムの更新については、場内関係者と調整しながら、2024年度から2年間をかけて開発、導入を進めていく。 ・交流施設跡の活用と合わせた流通拠点としての整備を進めることにより、将来的な当市場の取扱高の増加による収益向上と企業価値の向上を図る。 										<ul style="list-style-type: none"> [収益確保環境整備] ・市場取扱高の増加支援のため、場内環境の改善、繁忙期の市場外での荷受けや引き渡し場所の安定的確保に努める。 [経費削減] ・電灯の間引きの継続や一部蛍光灯のLED化による光熱水費の抑制に努める。 	
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・交流施設跡の活用方法の決定にあたっては、卸売業者等場内関係者と協議しながら進める。 ・市場を取り巻く新たな課題や厳しい環境を踏まえて、取扱高の増加に資する市場機能の強化を検討し、引き続き、経費削減を行い効率的な運営を図る。 										<ul style="list-style-type: none"> [施設整備と機能向上] ・市場内施設の修繕、更新については、交流施設跡の活用も踏まえ、優先順位を決め必要最小限で実施 ・市場機能強化のための整備検討 	